

第4章	教育機関	53
1	市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）.....	54
2	市川市教育センター.....	56
3	市川市立図書館.....	59
4	市川市公民館（社会教育課）.....	67
5	市川考古博物館.....	70
6	市川歴史博物館.....	72
7	市川自然博物館.....	74
8	市川市少年自然の家.....	76

1. 市川市生涯学習センター

(メディアパーク市川)

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 (中央図書館)

TEL 047-320-3346(代表) FAX 047-320-3351



特色

市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）は、市制施行60周年に合わせ平成6年11月、市民の生涯学習を支援する拠点として開館した。

本センターは、視聴覚資料・点字図書・大活字本など78万点を備えた「中央図書館」、グリーンスタジオ・ベルホール・資料室等を備えた文学と映像を活動の基盤とする「文学ミュージアム」、教育相談や研修が行われる「教育センター」、子ども達が遊びを通して感性や創造力を育てていく「中央こども館」、青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う「少年センター」がある。

「読む」「見る」「聞く」「学ぶ」「遊ぶ」が一箇所のできる、新しいタイプの生涯学習施設である。

沿革

- S 63年 4月 中央図書館等複合施設建設検討会設置
- 63年 7月 ワーキンググループ設置（基本計画案検討）
- 63年10月 中央図書館等生涯教育センター建設準備委員会設置
「仮称メディアパーク市川建設基本計画」策定
- 63年11月 用地取得

H元年 7月 「仮称メディアパーク市川建築計画書」策定

元年10月 競技設計実施

2年 7月 基本設計完了

3年 3月 実施設計完了

3年12月 着工

6年 6月 竣工

6年11月 メディアパーク市川開館

利用

○開館時間

- ・中央図書館
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・こどもとしょかん
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・中央こども館
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・文学ミュージアム
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・文学ミュージアム資料室
 - 火～日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・教育センター
 - 研修担当：月曜日～金曜日 10:00～17:00
 - 相談担当：火曜日～土曜日 9:00～17:00
- ・少年センター
 - 電話相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
(木曜日のみ) 9:00～19:00
 - 面接相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
 - eメール相談：24時間

○休館日

- ・月曜日
- ・年末年始 (12/28 ～1/4)
- ・館内整理日 (土・日を除いた月末)

施設

1. 概要

敷地面積 11,012㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地下1階、地上3階 一部4階建)
 建築面積 6,164㎡ 延床面積 19,648㎡ 総工費 125億 1,600万円

2. 施設案内

1階	中央図書館	5,943㎡	・開架フロアを一つにまとめ、小説・参考図書類を配架する ・収蔵能力100万冊 ・他に新聞、雑誌、ビデオ、CD、DVDを置く
	こどもとしょかん	468㎡	・児童図書及び児童文学研究に関する本をそろえる ・おはなし室、くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）
	中央こども館	1,655㎡	・遊びを通して子ども達の健全育成を図る ・造形スタジオ、プレイルーム、陶芸室、集会室
2階	文学ミュージアム	2,770㎡	・最大260名収容のグリーンスタジオ ・46人収容のベルホール ・文学、映像に関する企画展の開催・映像編集設備・文学研修室
3階	教育センター	2,067㎡	・教育関係者の研修会の実施、教育に関する研究 ・来所及び電話による教育相談や、不登校児童・生徒の教室の運営
	文学ミュージアム資料室	200㎡	・市川ゆかりの文学に関する情報、資料室
	少年センター	35㎡	・計画補導、地区補導を通して青少年の非行防止と健全育成を図る ・少年および保護者等からの相談業務
4階 地下1階 その他	機械室 駐車場 共有部分	6,510㎡	・駐車場99台 ・音楽スタジオ、集会室

3. 整備機能

地下1階

- ・音楽スタジオ
（1室はドラムセット・デジタルピアノを設置、5～6人演奏練習に利用可）

1階 中央図書館

- ・ポピュラーライブラリー
- ・レファレンスライブラリー
- ・レファレンスカウンター
（調べものの相談対応）
- ・ブラウジングコーナー
（新聞、雑誌の軽読書に利用）
- ・障害者サービス室
- ・AVコーナー
- ・インターネット（IT）ブース
- ・対面朗読室
- ・シニアルーム
（研究個室、拡大読書器設置）
- ・ビジネスルーム
（パソコン・電卓持込利用可）
- ・ヤングアダルトルーム
- ・資料検索コーナー
- ・ブックディテクション
（貸出確認システム）設置
- ・相互通話補助装置（フラットループ）整備

1階 こどもとしょかん

- ・おはなし室
- ・くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）

1階 中央こども館

- ・アスレティック・フォーリー
- ・光のトンネル ・遊環路

中2・3階

- ・閉架書庫（収蔵能力80万冊）

2階 文学ミュージアム

- ・グリーンスタジオ
最大260人収容、可動床により様々な催しができる多目的スタジオ

- ・ベルホール
- ・通常展示フロア

- ・企画展示室
- ・映像メディア編集室

- ・文学研修室
- ・アナウンスブース

3階 教育センター

- ・研修室4室 ・和室研修室
- ・コンピュータ研修室
- ・教育相談室
- ・和室相談室 ・プレイルーム
- ・ふれんどルーム市川

3階 文学ミュージアム資料室

3階 少年センター

2. 市川市教育センター

〒272-0015 鬼高1-1-4
 TEL 047-320-3335(研修担当事務室)
 047-320-3336(相談担当事務室)
 047-320-3345(少年センター事務室)

特色

市川市教育センターは、昭和36年に「市川市教育研究所」として設置された。昭和58年には「市川市教育センター」に改称し、機能を整備し拡充してきた。

平成6年11月に、市川市生涯学習センターの設置と同時に移転し、生涯学習の基礎を担う一端に位置づけられた。

主に市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子供や保護者からの教育相談を行っている。教育相談の内容は、子育てに関することから不登校など学校生活に関することまで幅広く、教育に関する経験と見識を併せ持つ相談員や臨床心理士が常駐している。

沿革

昭和36年 4月 市川市役所内に市川市教育研究所を置く
 昭和37年 1月 教育相談事業開始
 昭和38年 3月 小学3・4年生用副読本「わたしたちの市川」初版発行
 昭和48年 4月 教職員等研修事業開始
 昭和49年 4月 就学指導委員会条例施行
 昭和54年 4月 教育実践記録論文「いぶき」第1回募集
 昭和54年 6月 「教育いちかわ」1号発行
 昭和58年12月 南八幡5-20-3に移転、「市川市教育センター」と改称
 平成元年 公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業開始
 平成6年11月 市川市鬼高1-1-4、市川市生涯学習センター3Fに移転
 平成6年 適応指導教室開級
 平成8年 文部省指定「学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」～10年
 平成11年 文部省・郵政省指定「マルチメディア活用学校間連携推進事業」
 平成13年 文部科学省指定「次世代IT

を活用した未来型教育研究開発事業」
 平成13年 文部科学省指定「学校図書館資源共有型モデル地域事業」～15年
 文部科学省指定「不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業」～14年
 平成15年 文部科学省指定「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」
 平成16年 文部科学省指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」～18年
 平成18年 文部科学省指定「学校図書館支援センター推進事業」～20年
 平成19年 きらきら体験留学事業
 平成21年 文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」
 平成22年 文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～23年
 平成22年 「ほっとホッと訪問相談」指導課より移管
 平成25年 文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」～26年
 平成25年 校内LANシステム、校務支援システム、ICT機器等の導入
 平成27年 教育支援委員会条例施行
 文部科学省委託「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」～28年

施設

市川市生涯学習センター 3階 2,067㎡
 (通称 メディアパーク市川)

事業

(1) 学校図書館支援センター事業

市川市教育センター内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館へのさまざまな支援を通して学校図書館の「学習・情報センター」「読書センター」としての機能の充実・強化を図る。また、学校の教育機能を高め児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育むとともに、生涯にわたって学び続ける市民の育成をめざす。

(2) 社会科副読本等製作事業

小学校における郷土に関する学習指導の在り方を研究するとともに、副読本「わたしたちの市川」(小学校3・4年用)及び指導解説資料等の作成をする。

(3) コンピュータ教育振興事業

(小学校)

コンピュータに慣れ親しみ、多くの情報に触れながらICT教育を推進する。また、IT社会で適正に行動するための考え方や態度を養成する。

(中学校)

コンピュータの操作等を通して、情報を適切に活用する基礎的な能力を養う。また、情報モラル教育の推進を図る。

(4) 教職員等研修事業

市川市の教職員の資質・力量の向上を図るため、市川市、千葉県、国の教育施策をふまえ、教育の今日的課題や教職員のニーズに応じた研修を行う。

- ・層別研修
- ・職務別研修
- ・希望研修
- ・推薦研修

(5) 学校情報化研究事業

教職員のICT機器操作のレベルアップを図り、魅力ある授業への改善及びICT機器等の整備を行う。

(6) 教育広報活動事業

①教育委員会広報紙「教育いちかわ」発行
市川市教育委員会の施策や新しい教育情

報等を市民・保護者・学校関係者に提供し、理解と協力を求める。

②教育実践記録論文集「いぶき」

教職員の日常の教育活動を論文にまとめ論文集を発行する。優れた実践を紹介し、市川教育の向上に努める。

③教科書センター

各種教科書を常設し、学習指導のための資料提供や教科内容の研究等を行うことができる。また、保護者、市民にも利用できるようにすることで、教科書や教科への理解を深める。

(7) 教育情報収集・提供事業

学校要覧、教育課程編成資料、研究紀要を収集し、各学校へ情報を提供する。

(8) 教育支援委員会運営事業

(市川市教育支援委員会)

特別の支援を必要とする幼児、児童生徒の適正な就園・就学及び転学に関し教育委員会の諮問に応じ調査審議するとともに必要に応じ建議する。

(9) 教育相談事業

①教育相談

市内在住の3歳以上の幼児、小学生、中学生とその保護者を対象に、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員等がカウンセリングや心理療法等を行うことで悩みの軽減や解消を図る。

②ほっとホッと訪問相談

学校生活全般の悩みに対して、経験豊かな相談員が電話相談や訪問相談等を行うことで、児童生徒及び保護者の心の安定を図る。

(10) 適応指導教室運営事業

(ふれんどルーム市川)

心理的な要因による不登校児童生徒に対し、自我の確立及び集団生活への適応力の向上を図り、学校への復帰を促す。

(11) 補導員活動事業

非行の早期発見・未然防止のため、市内160名の少年補導員と市川・行徳両警察署の協力を得て、実施計画に基づいた市内全域の補導活動を実施する。

(12) 少年相談事業

複雑化、深刻化する傾向にある相談者の悩みやニーズに対応できるよう、電話相談・電子メール、相談から面接相談への適切な受け渡しに努め、相談効果を高める。

(13) 社会浄化啓発活動事業

少年非行及び犯罪の発生予防を目的として、少年（青少年）に有害な社会環境の浄化・改善活動、少年の非行化防止活動及び少年の健全育成のために必要な施策を行う。

(14) 少年健全育成活動事業

①健全育成活動事業

中学校区15ブロックごとに地区少年健全育成団体が地域に根差した活動を展開し、少年の非行防止と社会環境浄化活動の活性化を目指す。

②少年センター運営協議会事業

教育委員会の諮問に応じて、少年センターの運営についての方等を審議する少年センター運営協議会を開催する。

3. 市川市立図書館	〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4 (中央図書館) TEL 047-320-3346 FAX 047-320-3351
-------------------	--



図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関である。

本市の図書館の今後の目指すべき方向性については、平成26年度に「市川市立図書館運営基本計画」を策定しており、その評価を実施し公表していく。

- (1) 学びを支える図書館
 - 身近に図書館が利用できるよう、図書館ネットワークの整備
- (2) 情報拠点としての図書館
 - ①様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持
 - ②ICタグによる蔵書管理
 - ③レファレンスサービスの充実
- (3) 子どもの成長をサポートする図書館
 - ①発達に応じた豊かな読書のための環境の整備
 - ②教育センターや学校図書館との連携
- (4) 地域の文化を育む図書館
 - 市川市の歴史・文化の保存と継承
- (5) 連携や協働で多様なサービスを展開する図書館
 - ①市民ボランティアとの連携の強化と活動のバックアップ
 - ②市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供
- (6) まちづくりを支える図書館
 - ①市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信
 - ②議会図書室との連携

沿 革

昭和	
25年 9月	創立開館市川小学校に併設(2教室)
32年 5月	葛飾八幡宮境内に移転し新設開館
37年 5月	夜間開館実施
39年 3月	「市川市立図書館設置条例」制定
6月	徳願寺境内に行徳分館開館
43年 5月	本館隣りに新館開館
50年 9月	移動図書館「みどり号」運行
54年 2月	信篤図書館開館
55年 4月	行徳分館を行徳図書館に改称
	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年 10月	行徳図書館、行徳支所4・5階に移転して開館
58年 10月	南行徳図書館開館
60年 11月	電算システムを導入し、市内5館をオンラインで結び、システムによる貸出開始
62年 10月	平田図書室開室
平成	
元年 4月	行徳図書館、行徳支所隣に新館として開館
6年 11月	市川市中央図書館開館
12年 10月	インターネットで蔵書公開を開始
14年 11月	インターネットでの所蔵予約開始
15年 3月	自動車図書館車の圧縮天然ガス(CNG)車への更新
17年 4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける
18年 10月	宅配サービス開始
21年 4月	指定管理者制度を導入し、市川駅南口図書館開館
23年 4月	市川市立図書館中期計画策定
26年 11月	中央図書館開館二十周年記念行事(標語、ポスター募集・記念講演会)開催
27年 3月	市川市立図書館運営基本計画策定

第4章 教育機関

- 28年 4月 赤ちゃんカード発行
- 7月 行徳図書館、IC 機器導入
- 12月 大野公民館図書室蔵書管理の
バーコード化

施設概要

図書館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012		4,958		410	
建築面積	6,164		674	304	120	
延べ床面積	6,411	256	2,223	912	360	573
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上2階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上5階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階/地上45階(3階部分)
蔵書冊数(冊)	721,799	42,073	149,202	59,961	44,566	87,184
雑誌(誌)*1	337	37	106	37	38	43
CD(点)	15,694		7,587			
ビデオ(点)	3,948		49			
DVD(点)	1,826		305			978
開館時間	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～18:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 9:30～21:00 土・日曜日・祝 9:30～18:00
閉館日	毎週月曜日及び土・日曜日にかからない月末日・国民の祝日 年末・年始及び蔵書点検期間 ※ 中央・市川駅南口・行徳のみ祝日開館					
閲覧席(席)	358	20	179	33	16	61
駐車場(台)	(共有)99		(共有)69	(共有)20		
利用者端末(台)	(*2)32	1	6	1	1	(*3)7
職員数(女性)*4	33(18)	3(1)	9(5)	3(1)	3(1)	指定管理者制度
司書数(女性)*4	27(18)	1(1)	6(5)	2(1)	2(1)	指定管理者制度
交通手段(最寄駅)	京成曳越駅より 徒歩13分 JR本八幡駅下 総中山駅より 徒歩15分	JR本八幡駅より 徒歩10分 京成菅野駅より 徒歩8分	東西線行徳駅より 徒歩5分	東西線原木中山 駅より徒歩2分	東西線南行徳駅 より徒歩15分	JR市川駅より 徒歩2分

*1 購入雑誌のみ。

*2 Web-OPAC・ITブース等を含む。

*3 外部データベース閲覧3台含む

*4 再任用職員を含む。

事業概要

(1) 資料の提供

市内に5館1室の施設を配置し、市川市在住・在勤・在学の者に対して、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等多様な資料の提供を行う。各館をオンライン化し、できるだけ均質なサービスの提供に努めるとともに男女共同参画センター情報資料室等の類縁機関との連携や市内各所への返却ポストの配置(平成28年4月現在12箇所)により、利便性の向上に努めている。

(2) 資料収集

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分類別収集基準」、各年度ごとの「資料収集計画」という

体系のもとで資料を収集する。選書にあたっては、中央図書館で毎週選書に関する会議を開催し、全館分の最終的な確認を行い、市川市全体で効果的な図書購入をしている。また、新刊購入だけでなく、既刊図書の買い替えや補充、復刊図書の購入などにも留意し、蔵書の適正な維持に配慮している。

①地域行政資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、市川市に関する資料を中心に、千葉県内の郷土に関する資料を積極的に収集・提供する。又、市川市民の著作の収集に努める。

②視聴覚資料

CD・ビデオ・DVD等時代に合った記録媒体を提供するよう、幅広い資料収集と保存を行う。

③逐次刊行物資料

最新の情報を得られる速報性を踏まえ、市民の多様な興味・関心に留意し逐次刊行物（新聞・雑誌）の収集・整理・保存を行う。

（3）リクエストサービス

①リクエストサービス

利用者の求める図書が、図書館にない場合、貸出資料の予約や相互貸借、購入により提供するサービスである。

②国・県・市町村図書館との相互協力

リクエストされた資料が、市川市内の図書館に所蔵が確認できない場合、国立国会図書館・県立図書館及び他の市町村図書館等から、資料を取り寄せて提供するサービスである。

平成28年度は、県内市町村図書館への貸出冊数は3,722冊、借用冊数は6,545冊となっている。

（4）自動車図書館サービス

図書館だけでは補いきれない地域の人達や身体に障害のある方、高齢者等、図書館を利用しにくい市民のために運行している。車は圧縮天然ガスを燃料とする環境対策車。

平成28年度末の蔵書冊数は15,198冊、延べ利用者数は5,074人、貸出点数は、23,652点となっている。

（5）レファレンスサービス

探している資料が見つからなかったり、知りたい「人」や「事柄」についてどんな資料を調べればよいかなど、利用者の調査・相談の手助けをする。寄せられた質問とこれに対する回答の事例はデータベース化して蓄積し、ホームページ上で公開するとともに国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。

平成28年度の実績は70,002件となっている。



（6）学校図書館支援センター事業

学校での「調べ学習」や「読書」を活発に展開させ児童・生徒の「自ら学ぶ力」を養育するために、公共図書館と学校図書館が連携し、児童の「調べ学習」や「読書」を支援している。図書館で学校図書館支援専用資料として約1万2千冊を中央図書館で管理し、通常の図書館資料と併せて提供している。

平成28年度においては学校よりの依頼件数は528件、6,844冊の貸出があり、その他に学級文庫用に4,820冊を提供した。

（7）千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業

市内在住・在勤・在学の市川市立図書館利用者に、中央図書館で紹介状を発行することにより、千葉商科大学付属図書館の利用が認められる。この提携は、より専門的になってきた市民の要求に対応するため、市川市立図書館側が提案し大学側の理解を得て実現した。同大学は以前より公共図書館及び所属大学図書館の紹介があれば閲覧、複写のサービスを行っていたが、利用券の発行があれば貸出サービスも受けられる。

平成28年度の紹介状発行件数は152件。

（8）和洋女子大学メディアセンターとのネットワーク事業

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター(図書館)所蔵の図書を市立図書館(中央・行徳・信篤・南行徳・市川駅南口・平田)の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、希望する図書の書誌事項をリクエストカードに記入の上、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。

平成28年度、和洋女子大学より借用件数は2件(2冊)市川市立図書館よりの貸出件数は6件(8冊)。

（9）公民館図書室

7つの公民館(西部・東部・曾谷・大野・市川・市川駅南・本行徳)に公民館図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成12年10月より西部・大野公民館、平成15年6月より曾谷公民館、平成16年6月より東部公民館に図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週2回巡回している。

（10）市民図書室

4つの小学校(塩焼・稲越・福栄・大柏)に市民図書室があり、それぞれの地域に密着

したサービスを提供している。平成12年10月より図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週2回巡回している。

(11) 児童サービス

児童サービスは、子どもたちが幼い頃から本に親しむことで、本から様々な興味を見いだし、本の世界の楽しさを知ることができるよう、子どもと子どもをとりまく大人に対してサービスを行う。

(12) ヤングアダルトサービス

中学生・高校生を中心とした世代を、Young Adult（若い大人）としてとらえ、児童書・一般書の枠にとらわれずに中学生・高校生向けの資料を集めた Young Adult コーナーを中央・行徳・信篤・南行徳図書館に設置。中央図書館ではグループで調べ学習等の活動ができる Young Adult Room があり、掲示板を置き、情報交換の場としても利用している。

(13) 障害者サービス（図書館利用に障害のある利用者へのサービス）

心身等、図書館を利用する上で何らかの障害がある方に、それぞれの状況に応じた最も利用しやすいサービスを提供する。

(14) 返却ポストの設置

返却の利便性向上のために市内 12ヶ所（市川市役所本庁舎・八幡市民談話室・情報プラザ・市川公民館・南行徳市民センター・歴史博物館・大野公民館・塩浜市民体育館・千葉商科大学附属図書館・イオン市川妙典

店・中山窓口連絡所・ベルクス市川堀之内店）の図書館外施設に、図書と雑誌が返却できるポストを設置。平成28年度の実績は、約22万冊の返却があった。

(15) 外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現、さらに多文化を知りその背景を理解し共存していくことを目的にしているため、今後ますますその意義と必要性が求められているサービスである。その一環として、平成18年5月、大韓民国ソウル特別市江南区がインターネット上で運営している電子図書館のID1万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館に電子図書館閲覧コンピューターを設置した。

平成28年度主な言語別蔵書冊数は、英語7,064冊、中国語3,726冊、韓国語1,640冊その他の言語1,635冊となっている。

(16) リサイクルブック市

図書館の不用図書（除籍資料・寄贈資料のうち、すでに図書館で所蔵しているために受入しないと決定した資料）を有効利用するため市民に提供する。中央・行徳・信篤・平田・南行徳の各図書館で実施した。中央・行徳図書館では、市川図書館友の会の協力のもと実施。

平成28年度中央図書館リサイクルブック市の実績は、一般参加者1,346名、提供冊数14,020冊。

統計は別紙



平成28年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成28年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,278	73	378	2,187	460	387	349	15,112
1哲学	22,245	218	741	3,230	1,235	739	720	29,128
2歴史	30,055	281	1,648	8,436	2,165	1,943	3,033	47,561
3社会科学	55,382	423	2,468	14,411	3,053	2,486	1,736	79,959
4自然科学	25,441	357	1,417	6,394	1,907	1,433	1,094	38,043
5技術	19,384	1,574	3,167	7,992	3,567	2,902	5,860	44,446
6産業	8,826	185	729	2,547	696	625	916	14,524
7芸術	34,128	395	2,157	8,886	2,635	1,683	2,828	52,712
8言語	9,756	50	435	1,808	457	380	545	13,431
9文学	50,603	5,171	9,425	26,995	16,254	9,401	7,742	125,591
郷土行政	49,395	0	513	3,728	597	655	387	55,275
参考資料	25,100	0	151	2,027	367	262	407	28,314
外国語資料	13,324	0	0	741	0	0	0	14,065
障害者資料	10,581	240	0	586	0	0	0	11,407
コーナー別資料	256,179	0	4,299	22,841	11,123	5,700	47,250	347,392
一般計	621,677	8,967	27,528	112,809	44,516	28,596	72,867	916,960

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	429	30	93	293	216	72	96	1,229
1哲学	500	21	91	219	90	64	67	1,052
2歴史	4,438	93	505	1,642	673	597	454	8,402
3社会科学	4,128	89	473	1,431	512	556	475	7,664
4自然科学	8,891	548	1,312	2,640	1,597	1,389	1,234	17,611
5技術	3,082	231	447	1,117	500	476	586	6,439
6産業	1,647	65	261	503	225	285	220	3,206
7芸術	4,003	345	608	1,335	757	636	808	8,492
8言語	850	21	150	288	136	163	137	1,745
9文学	27,355	1,723	3,932	10,139	5,209	4,960	3,346	56,664
E絵本	38,731	2,915	6,401	15,153	5,085	6,324	6,486	81,095
P紙芝居	965	150	247	446	159	256	321	2,544
児童郷土	1,478	0	7	282	84	11	0	1,862
児童参考	755	0	18	199	71	48	87	1,178
児童研究	2,870	0	0	706	131	133	0	3,840
児童計	100,122	6,231	14,545	36,393	15,445	15,970	14,317	203,023

図書計	721,799	15,198	42,073	149,202	59,961	44,566	87,184	1,119,983
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	39,133	0	1,409	6,638	1,634	1,777	1,285	51,876
ビデオ	3,948	0	0	49	0	0	0	3,997
DVD	1,826	0	0	305	0	0	978	3,109
CD	15,694	0	0	7,587	0	0	0	23,281
その他付録等	3,917	0	50	513	14	24	141	4,659
図書以外計	64,518	0	1,459	15,092	1,648	1,801	2,404	86,922

総計	786,317	15,198	43,532	164,294	61,609	46,367	89,588	1,206,905
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(2) 分類別貸出冊数 (平成28年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,192	70	531	4,016	520	586	2,169	13,084
1哲学	27,939	295	1,614	14,151	1,866	1,996	8,593	56,454
2歴史	22,179	524	3,672	26,555	3,902	4,384	24,191	85,407
3社会科学	37,943	479	3,285	29,569	3,127	3,566	11,665	89,634
4自然科学	20,456	414	1,565	12,958	2,273	1,697	5,473	44,836
5技術	19,326	1,761	6,375	39,012	6,801	7,522	35,165	115,962
6産業	6,298	179	878	7,044	720	1,052	4,084	20,255
7芸術	23,393	279	1,855	13,329	3,338	1,955	11,902	56,051
8言語	14,130	67	578	4,990	1,036	574	4,107	25,482
9文学	26,337	4,902	12,165	68,288	14,115	13,347	46,241	185,395
郷土行政	4,053	2	99	746	177	176	808	6,061
参考資料	843	3	4	24	18	25	24	941
外国語資料	3,894	16	22	895	16	26	301	5,170
障害者資料	6,344	74	154	553	26	27	210	7,388
コーナー別資料	618,342	1,393	19,258	140,579	35,084	23,830	222,331	1,060,817
一般計	836,669	10,458	52,055	362,709	73,019	60,763	377,264	1,772,937

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	703	39	107	529	97	92	351	1,918
1哲学	1,358	29	112	536	58	72	484	2,649
2歴史	5,998	119	493	3,369	336	406	1,798	12,519
3社会科学	6,130	274	322	3,652	196	525	1,772	12,871
4自然科学	15,034	822	1,022	9,847	1,130	1,476	4,300	33,631
5技術	7,146	602	926	6,282	1,187	1,286	3,373	20,802
6産業	2,084	131	303	1,110	221	400	684	4,933
7芸術	11,112	838	1,066	6,743	1,443	1,354	4,685	27,241
8言語	1,396	48	171	1,070	111	196	607	3,599
9文学	68,014	3,108	7,776	46,264	6,679	6,518	20,675	159,034
E絵本	195,709	6,614	15,768	109,425	19,062	17,164	57,077	420,819
P紙芝居	6,296	391	734	3,251	218	517	2,267	13,674
児童郷土	792	0	1	109	10	8	7	927
児童参考	101	0	1	54	2	1	7	166
児童研究	1,142	2	14	311	59	18	106	1,652
児童計	323,015	13,017	28,816	192,552	30,809	30,033	98,193	716,435

図書計	1,159,684	23,475	80,871	555,261	103,828	90,796	475,457	2,489,372
-----	-----------	--------	--------	---------	---------	--------	---------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	50,055	138	3,870	24,497	4,609	5,946	11,783	100,898
ビデオ	2,171	0	8	153	10	16	44	2,402
DVD	19,963	0	219	2,747	213	210	5,516	28,868
CD	58,261	0	656	20,246	1,025	857	3,952	84,997
その他付録等	23,838	39	360	5,916	525	288	29,891	60,857
図書以外計	154,288	177	5,113	53,559	6,382	7,317	51,186	278,022

総計	1,313,972	23,652	85,984	608,820	110,210	98,113	526,643	2,767,394
----	-----------	--------	--------	---------	---------	--------	---------	-----------

(3) 市民図書館統計

図書館名	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	148	15,663	105.8	148	28,138	190.1	770	561	22,092
稲越市民図書館	148	2,768	18.7	148	7,117	48.1	579	556	15,925
福栄市民図書館	148	10,079	68.1	148	27,339	184.7	795	748	18,457
大柏市民図書館	147	7,526	51.2	147	8,698	59.2	309	362	18,261
計	591	36,036	61.0	591	71,292	120.6	2,453	2,227	74,735

4. 市川市公民館（社会教育課）

〒272-0023 南八幡 1-17-15 南八幡仮設庁舎 2階
TEL 047-320-3343 FAX 047-320-3344

1 公民館運営の基本的な考え方

少子・高齢化、情報化、国際化などの現代的課題解決の必要性和自由時間の増加等が相まって、市民の学習意欲は高まりを見せている。また、そのニーズもますます多様化、高度化を示している。

これら社会情勢の変化に応じて、地域住民の身近な拠点として学習の場と機会の充実を図ると共に学習情報の提供等にも努め、生涯学習の一層の推進に取り組む。

2 具体的な目標

- (1) 施設整備を行い、安全で快適に利用できる施設に努める。
- (2) あらゆる世代が参加しやすい主催講座の企画・実施に努める。
- (3) 生涯学習に関する情報の提供に努める。
- (4) サークルの学習成果の発表の場の提供に努める。

3 公民館講座情報紙（ミーティアムガイド）の発行

公民館主催講座の情報紙として、9月と3月の年2回、公民館主催講座の開催にあわせて発行し、講座内容の紹介および受講生の募集をしている。

新聞折込配布、公共施設・駅スタンド配布、タブロイド版、2色刷り。

4 利用案内

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時
- (2) 休館日 毎月の最終月曜日、祝日
(祝日が日曜日の場合は振替休日の日)、年末年始(12月29日～1月3日)



菅野公民館（平成23年4月開館）

5 沿革

- 昭和27年5月 市川市公民館が開館
(現在の中央公民館)
- 昭和49年11月 西部公民館が開館
市川市公民館を中央公民館に改称
- 昭和53年9月 行徳公民館が開館
- 昭和53年10月 鬼高公民館が開館
- 昭和54年4月 東部公民館が開館
- 昭和55年3月 柏井公民館が開館
- 昭和55年4月 本行徳公民館が開館
- 昭和56年5月 市川駅南公民館が開館
- 昭和56年9月 大野公民館が開館
- 昭和57年4月 信篤公民館が開館
- 昭和58年5月 曾谷公民館が開館
- 昭和62年5月 若宮公民館が開館
- 平成元年4月 「公民館だより」発行
(翌年「カルチャーガイド」に改称)
- 平成元年5月 幸公民館が開館
- 平成2年5月 南行徳公民館が開館
- 平成3年5月 市川公民館が開館
- 平成7年10月 一部公民館にて月曜開館の試行開始
- 平成10年9月 公募により公民館の愛称を「ミーティアム」に決定
- 平成11年4月 公民館組織改正
(地域別に4ブロック制に)
- 平成12年4月 公民館使用料の改正
(1時間単位の予約に)
- 平成12年5月 インターネットによる公民館予約システム開始
- 平成13年3月 「ミーティアムガイド」発行
(「カルチャーガイド」を改称)
- 平成13年4月 公民館組織改正
(公民館センターの設置)
- 平成14年4月 行徳公民館に新館を増設
- 平成16年6月 中央公民館菅野分館が開館
- 平成17年4月 全館月曜開館の実施
- 平成18年4月 夜間を管理委託から直営に
- 平成23年4月 菅野公民館が開館
- 平成25年4月 公民館組織改正
(公民館センターから社会教育課に変更)

第4章 教育機関

- 平成27年10月 公民館使用料の改正
(市民等以外の料金設定)
- 平成28年10月 公民館使用料の改正
(経過措置期間終了に伴う
本改正)

6 平成28年度の状況

公民館名	総利用者数 (人)	主催講座 (講座数)	平成28年度主催講座の例
中央	42,118	15	行動範囲を広げる楽しい自転車ライフ おもてなし英語講座（初級）
鬼高	24,692	19	美しい街づくりボランティアに挑戦 塔からみた市川の歴史
信篤	78,960	23	親子で「市川の梨」栽培に挑戦 簡単おいしい手作りおせち
東部	97,722	20	シニア はじめてのスマホ ときめきジャズ・タイム
柏井	28,243	17	世界の食卓（モロッコ・ペルシャ料理） 女磨き幸せレッスン
大野	96,930	22	高瀬舟が通った江戸川と流域の歴史 子ども科学教室（集音マイク、聴診器）
若宮	31,459	15	手話でおはよう・こんにちは 元気ハツラツ！ 大人の若返りリトミック
市川	99,439	20	初心者のための仏像案内 「市川」、ちょっと昔の話
西部	84,094	18	江戸の水路と江戸湾の埋め立て AEDを使用した心肺蘇生法を学ぼう
市川駅南	62,186	20	わくわく子育て 0歳児コース はじめての男めし
曾谷	127,585	18	アーチェリー入門 危機管理向上講座
行徳	132,241	28	はじめての日本画 相続・遺言・終活ノートの基礎知識
本行徳	41,304	24	トータルフィットネスでしなやかな体に 子ども書初め教室
幸	38,938	17	シニアの健康講座 生活習慣病について 暮らしを飾る和の折り紙
南行徳	91,517	18	洋菓子とパンにチャレンジ 循環型社会と私たちの生活
菅野	55,362	19	真田一族と真田丸 エコで健康ライフ 布ぞうり
合計	1,132,790	313	

5. 市川考古博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-26-1
TEL 047-373-2202 FAX 047-373-2205



▲博物館全景



●博物館案内図

特 色

市川市は、原始・古代の遺跡が多く、しかも堀之内貝塚・曾谷貝塚・姥山貝塚・下総国分僧寺跡・下総国分尼寺跡など、国の史跡に指定されている遺跡を含んでいる。これらの遺跡から出土した考古資料によって、原始・古代の市川を中心とした地域の歴史の歩みを体系的に理解し、学べる考古専門館である。

生涯学習の時代の一翼を担う多彩な講座、体験学習、見学会などの実施によって、市川の歴史に対する認識を高め、郷土に対する愛着を深めてもらうよう努めている。

沿革

- 昭和47年11月 市立市川博物館として史跡堀之内貝塚の隣地に開館。
- 50年2月 登録博物館となる。登録第7号。
- 57年11月 市立市川歴史博物館の開館に伴い、館名を市立市川考古博物館に改称。
- 60年3月 常設展展示替えによる新装開館。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建（一部地階）
敷地面積 7,253.00㎡（うち駐車場 990㎡）
建築面積 931.80㎡
延床面積 1,513.68㎡

〔主な施設〕

ホール展示室 90.9㎡
常設展示室 387.2㎡

学習室 28.2㎡
収蔵室 346.5㎡

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩10分
- J R総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き、「聖徳学園」行きで、「堀之内3丁目」バス停下車徒歩5分、「博物館入口」バス停下車徒歩10分。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による発掘資料と、個人から寄贈された考古資料などを収蔵している。

- (1)先土器（旧石器）時代関係
今島田遺跡、殿台遺跡
- (2)縄文時代関係
杉ノ木台貝塚、美濃輪台貝塚、上台貝塚、向台貝塚、今島田貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚、堀之内貝塚等
- (3)弥生時代関係
須和田遺跡、木戸口遺跡、後畑遺跡、国府台遺跡等
- (4)古墳時代関係
須和田遺跡、今島田遺跡、鬼高遺跡、杉ノ木台遺跡、法皇塚古墳等
- (5)奈良・平安時代関係
下総国府跡、下総国分僧寺跡、下総国分尼寺跡、須和田遺跡、国分遺跡等

事業

1 常設展示

過去10数万年間の自然環境の変化を導入とし、最初に住民がやってきてから律令社会が成立・崩壊していくまでの原始・古代の歴史を、市川を中心に展示している。

<展示内容>

○前室 環境の変化

過去10数万年の間でも自然環境は大きく変化していることを、貝化石、クジラ化石、サンゴ化石、地層模型などで紹介している。

○第1室 最初の住民<先土器時代>

原人、旧人、新人の胸像模型と、1万年以上も前の寒冷な時代に、主として狩りで暮らしていた人々の石器を展示している。

○第2室 貝塚の形成<縄文時代>

土器を使用した縄文人は、狩猟、漁労、植物採集で計画的に生活していたことを、豊富な貝塚の出土資料やジオラマにより複元。埋葬法、縄文人骨とその特徴などを実物や写真で紹介している。

○第3室 稲作文化の伝来<弥生時代>

朝鮮半島から伝来した稲作等の農耕とその文化が人々の暮らしを大きく変え、市川市に普及した様子を展示している。

○第4室 古墳の出現<古墳時代>

大和王権が各地を統一しようとした時代で、市川には6世紀半ばの法皇塚古墳がある。その出土品、当時の土器の土師器と須恵器、鉄やカマドの普及を紹介している。

○第5室 律令の社会<奈良・平安時代>

7世紀後半以降、律令を基にした中央集権国家が成立する。市川には下総国の政治の中心である国府と官立寺院の国分寺が置かれた。仏像、瓦、墨書土器、役人の服、伽藍模型や庶民にかかわる遺物を紹介している。

2 展示

ホール小展示

- ・「窯の須恵器・国府の須恵器」4/1～6/12
- ・「下総国分寺と大塚前廃寺」6/25～1年間

速報展

- ・「第6回 後通遺跡」12/10～10/7

3 利用状況（平成28年度） 開館日数302日

入館者			外部サービス利用者			合計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	総計
8,080	14,793	22,873	9,291	23,948	33,239	17,371	38,741	56,112

3 講座・説明会・体験学習・見学会など

行事名	内容
講座 ・ 講演会等	○考古学教室 『続日本紀』を読む全9回 『常陸国風土記』を読む全9回 ○ギャラリートーク 出張展示解説3回 ○企画展記念講演会 「弥生時代とはどんな時代か？」 ○速報展講演会 「後通遺跡の発掘成果」
体験 ・ 見学会 ・ 養成	○博物館体験学習 土器をつくろう 全4回 火をおこそう 8回 勾玉づくり 8回 組紐づくり 25回 ○サマーフェスタ 縄文汁・火おこし ほか ○オータムフェスタ 火おこし・焼き芋ほか ○小学校体験学習 19校 1726人 ○出前授業 5校 518人 ○第17回縄文体験フェスティバル 縄文の造形・火おこし・勾玉づくりなどを体験 ○バス見学会 「大谷磨崖仏と採石場」 ○ボランティア養成講座 火おこし指導員の養成全4回 縄文学習指導員の養成全4回 組紐ボランティアの養成全1回

4 協力

春史蹟まつり、曾谷縄文まつり、真間史蹟まつり、市史講演会、市川市史編さん事業

5 学生・教員研修

中学生職場体験10校43人、学芸員館務実習3大学3人、体験学習教職員研修会19回

利用

1 利用案内 ・開館時間 9時～16時30分

- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料 ・常設展・企画展は無料

6. 市川歴史博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-27-1

TEL 047-373-6351 FAX 047-372-5770



第4室 台地の人々の生活のコーナー

特 色

原始・古代担当の考古博物館の後を受けて、市川における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を活かしたかつての市域の生活・生業を復元展示している。

本市の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図り、市民の郷土に対する認識と愛情が深まるよう努めている。

沿革

昭和57年11月 市立市川歴史博物館として開館。

12月 登録博物館となる登録17号。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建(塔屋付)
敷地面積 3,388㎡ 建築面積 1,199㎡
延床面積 2,001㎡

[主な施設]

常設展示室 430㎡ 特別展示室 249㎡
講堂 104㎡ 収蔵室 234㎡

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩8分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅(国分経由)」行き・「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス停下車徒歩10分、ほか。

案内図は、2ページ前の「考古博物館をご参照ください。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会(一部)による収集資料と、個人から寄贈された歴史・民俗資料を収蔵している。

- (1)中世(鎌倉～戦国時代)関係
板碑、日蓮関係資料(複製)等
- (2)近世(江戸時代)関係
高札、古文書、塩製造用具等
- (3)近現代(明治～昭和時代)関係
古写真、戦争関係資料、学校関係資料等
- (4)民俗関係
生活用具、農具、漁具、職人関係資料等

事業

1 常設展示

○前室

当館設置の趣旨及び、案内図を配して展示し、室内の配置と順路を示す。また、市内の特徴のある写真や鳥瞰図を展示し、景観的イメージを印象づけて展示室へ導入するとともに、新着収蔵資料等を紹介する。

○第1室 中世以降の市川

中世以降の市川の歴史の主要事項を理解してもらい、各ルームの年代的位置づけを行う場として、パネルと資料で紹介する。
展示資料：立正安国論(複製)、空襲日誌等

○第2室 海辺の人々の生活

かつては交通の要所で、関東地方最大の塩の生産地でもあり、近代以降は海苔の養殖が盛んであった、市南部の行徳、南行徳の地域は、住宅地として急激な変貌を遂げている。ここでは、海辺の人々の生活を再現し、現在との関わりについて考える場とする。
展示資料：製塩用具、のり抄き用具等

○第3室 水路と陸路

市川市の西側を流れる江戸川は、水路として交通や物資の運搬に重要な役割を果たしてきた。
一方、市内の陸路は、参勤交代や成田参詣への道などがあり、これらが江戸川と交わる

ところに、市川関所と行徳新河岸があった。

ここでは、江戸時代を中心に示し、床面には市域の水路と陸路の概略を紹介する。

展示資料：往来手形（複製）、笹屋看板等

○第4室 台地の人々の生活

市の北部地域は下総台地の一画で、小さな谷津が入り込んだ地形をなしており、人々は谷津の泥深い田を耕して生活してきた。ここでは、民家の一部を移築復元して、土間を中心とした生活を再現し、さらに農耕と年中行事を組み合わせる事により、一年を周期とする生活を紹介します。

展示資料：稲作用具、辻切大蛇等

○第5室 郷土コーナー

郷土市川に関係した人物を「人で綴る市川の歴史」と題してまとめ紹介する。また市内の史跡や文化財についても紹介し、新着資料や季節の民俗資料を展示する。

展示資料：坪井玄道関係資料

2 展示

企画展「発見・体験・昔の暮らし」

9月13日～29年2月3日

小企画展「新収蔵資料展及び昔の暮らしの道具紹介」

6月14日～12月20日

季節の展示 冬「辻切り」、春「春の節供と子どもの祝い」

1月20日～4月23日

巡回展「市川市域の空襲」中央図書館

2月1日～3月20日

3 講座・説明会・体験学習など（表1参照）

4 協力

回遊展 in 行徳・市川、中央公民館他5館講座、市川雑学大学、たばこと塩の博物館、江戸東京博物館、市川市史編さん事業

5 研修

市内小・中学校初任者教員研修61人、中学生職場体験9校42人、学芸員館務実習3大学3人

表2（平成28年度）開館日数301日

入館者			外部サービス利用者			合計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	総計
9,255	17,527	26,782	677	6,089	6,766	9,932	23,616	33,548

利 用

1 利用案内

・開館時間 9時～16時30分

・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料

・常設展・企画展は無料。

3 利用状況（表2参照）

表1

	行事名	内 容
講座・講演会	○近世史講座 I	古文書講座 12回
	○近代史講座 I	大柏村の近代文書を読む
	○民俗学講座	全 11回
	○史跡めぐり	市川市域の民俗について 2回
	○学芸員講座	江戸を歩く全 2回 国分地域の歴史他全 1回
体験・養成	○小学校体験学習	昔の暮らし体験（出前型）3回 冬の暮らしの道具体験など
	○昔遊び体験	昔の暮らし体験（来館型）23回 紋切りなど毎週土日
	○博物館サマーフェスタ	歴史地図づくり全 2回 昔の洗濯体験全 1回、水鉄砲作り 1回
	○博物館オータムフェスタ	わらのリース作り、昔遊びなど
	○縄文体験フェスティバル	昔遊び、紙芝居など
	○ボランティア講習会	藁ぞうり作り指導員養成 1回 昔のあそび指導員養成 12回

7. 市川自然博物館

〒272-0801 市川市大町284番地
TEL 047-339-0477 FAX 047-339-1210



施設

建物構造	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、塔屋付
敷地面積	2,994.0㎡
建築面積	952.8㎡
延床面積	2,052.3㎡
〔主な施設〕	
常設展示室	459.2㎡
特別展示室	111.0㎡
収蔵庫	149.2㎡

特色

市川市は、北部の台地と南部の低地、江戸川と東京湾などの自然環境に恵まれているが、現在は著しく都市化が進んでいる。市川の自然は都市化の中でかろうじて残されてきた自然と、市街地の自然によって特徴づけられる。

市川自然博物館では、こうした「市川の自然」を対象として、地域の自然環境や動植物について記録し後世に伝えるとともに、身近な自然環境や動植物とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を再発見していただくことを博物館の使命としている。

一般に博物館には、資料収集や保存、調査や研究、教育普及や展示等さまざまな機能がある。当館では、資料収集や調査、研究等により得られた成果を生かした教育普及及び展示活動に主眼をおいている。

沿革

平成元年10月24日 開館

開館記念特別展「市川の植物」

平成2年度 企画展「大町自然観察園の自然」

平成3年1月10日 千葉県博物館原簿に登録

平成3年度 企画展「市川の鳥」

平成4年度 企画展「江戸川放水路の自然」

平成6年度 企画展「市川のさかな」

平成9年度 企画展「柏井雑木林の自然」

平成12年度 企画展「市川市内の絶滅危惧種」

平成15年度 企画展「長田谷津（大町自然観察園）」

平成18年度 企画展「いちかわの動植物 基本ブック」

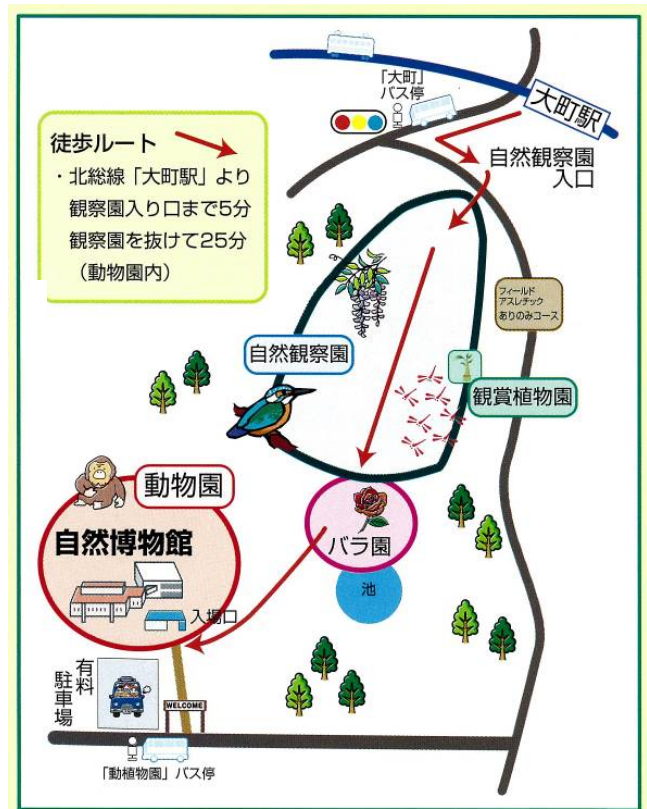
平成21年度 企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）いきもの暦」

平成24年度 企画展「いきものの成長」

平成27年度 企画展「いきものの体」

企画展終了後、展示を継続

博物館案内地図



交通案内

JR武蔵野線市川大野駅より、動植物園行き京成バスにて終点下車（土日休日のみ運行）、大町駅行き「駒形」下車徒歩15分（毎日運行）。

収蔵資料

市川市内の自然環境、動植物を主な対象として資料収集し、収蔵している。

種目	品目
標本資料	植物 さく葉標本
	植物 藻類さく葉標本
	鳥類 剥製標本
	鳥類 骨格標本
	鳥類 古巣標本
	鳥類 卵標本
	鳥類 付随標本
	哺乳類 剥製標本
	哺乳類 骨格標本
	哺乳類 付随標本
	魚類 液浸標本
	昆虫 乾燥標本
	昆虫 古巣標本
	昆虫 付随標本
	貝類 貝殻標本
	貝類 液浸標本
	甲殻類 乾燥標本
	甲殻類 付随標本
	地学 遺骸・化石標本
	地学 土壌標本
地学 岩石鉱物標本	
その他 人工物など	
映像資料	写真 デジタル画像
	写真 35 ^{ミリ} ポジ原版
	写真 6×7 ^{センチ} ポジ原版
	写真 35 ^{ミリ} ネガ原版
	写真 プリント
	映画 35 ^{ミリ}

常設展示

「市川の自然」をメインテーマとして、次の4つの大きなテーマで博物館資料を展示する。

また、実際に様々な生き物を飼育し展示するコーナーで展示を構成している。

○第1テーマ「市川のおいたち」

市川の大地のなりたちと人間の影響による自然の変化について紹介している。

- ・ひろがる市街地
- ・市川の大地

○第2テーマ「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、残された林や干潟の自然について紹介している。

- ・市川の林
- ・市川の海辺

○第3テーマ「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地でいきいきと生活する身近な生き物について紹介している。

- ・帰化植物
- ・都市鳥
- ・身近な昆虫

○第4テーマ「湧水の自然」

台地と低地からなる市川の地形によって生み出され、かつては市川のいたるところにあった湧水の自然について紹介している。

- ・湧水のある大町自然観察園

○飼育コーナー

身近な生き物など、年間を通じて種類を入れ替えて飼育し展示している。

教育普及活動

博物館外での活動として、隣接する大町公園自然観察園（長田谷津）や市内各地での自然体験学習を主催するほか、学校や市民団体などの自然体験学習を積極的に支援している。

行事名	内容
おやこ自然観察会	親子を対象にした自然観察園等での観察会
季節を感じる散策会	市内の自然豊かな場所を巡り季節の話題を観察
長田谷津散策会	自然観察園（長田谷津）の四季折々を楽しむ
自然講座	学芸員が市内の自然について紹介する室内講座
野草名札付け	自然観察園で学芸員の指導により植物名札をつけるボランティア活動
長田谷津環境整備	自然観察園で学芸員と共に環境整備作業を行うボランティア活動
学校や市民団体等への学芸員派遣	要請により学芸員を派遣する外部支援活動
少年自然の家でのグリーンスクールへの講師派遣	小学生の宿泊学習に伴う自然体験学習の支援
教員の研修受入れ	小中学校教員の研修支援

利用

●開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）

●休館日 毎週月曜日（ただし月曜日が休日の場合は翌日）及び年末年始

●入館料 無料

・利用状況（平成28年度） 開館日数 303日

	18歳未満	18歳以上	計
入館者	52,819	68,639	121,458
外部サービス利用者	4,811 (大学生等を含む)	768	5,579
合計	57,307	69,730	127,037

8. 市川市少年自然の家	〒272-0801 市川市大町 280-4 TEL 047-337-0533 FAX 047-337-0534
---------------------	--



特 色

市川市少年自然の家は、大町レクリエーションゾーン内にあり、動物園・観賞植物園・バラ園・自然観察園などと隣接した、大変自然豊かなところにある。

設立主旨：児童・生徒を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し健全な児童・生徒の育成を図る。

設備：宿泊室・体育室・研修室・集いの広場（キャンプファイヤー場、野外炊事場、トイレ）プラネタリウム室

浴 草

- 昭和 57 年 7 月 開所
- 8 月 プラネタリウム一般公開開始
- 昭和 62 年 5 周年記念式典
- 昭和 63 年 野外活動倉庫建設
- 平成 5 年 10 周年フェスティバル実施
- 18 年 9 月 改修工事開始
- 19 年 7 月 リニューアルオープン
- 23 年 4 月 祝日開所開始

施 設（改修後）

- (1) 施設案内
 - 敷地面積 10,514 m²
 - 延床面積 3,731 m²
 - 建築様式 鉄筋コンクリート造4階建て建物内訳
 - ・宿泊室
 - 児童・生徒用 18室 定員 180人
 - バリアフリー対応型 5室 定員 20人

- 引率者用 2室 定員 10人
- ・研修室
 - 第1研修室 1室 定員 80人
 - 第2研修室 1室 定員 50人
 - 和室研修室 1室 定員 40人
- ・視聴覚室 1室 定員 50人
- ・プラネタリウム室 1室 定員 217人
- ・体育室 縦25m 横15m
- ・食堂 1室 最大204席
- ・その他
 - 浴室、事務室、保健室他
 - 付帯設備 集いの広場 2,475 m²
 - 野外炊事場

(2) 交通案内

- ・北総開発鉄道松飛台駅 徒歩 15分
- ・JR武蔵野線市川大野駅 徒歩 30分
- または、市川大野駅から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩 5分・・・乗車時間 約 10分
- ・JR総武線本八幡駅北口から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩 5分・・・乗車時間 約 35分

(3) 近隣地図



利 用

- (1) 利用できる人
 - ・少年及び少年を主たる構成員とする団体並びにこれらの引率者
 - ・社会教育に係る学習、文化活動その他の生涯学習の諸活動を行うもので、教育委員会が認めるもの

(2) 宿泊利用に関わる経費 (H29.4.1 現在)

・ 宿泊使用料 (税込)

市内の方	中学生以下	無料
	高校生以上	540 円
市外の方	高校生以下	2,430 円
	大学生以上	3,240 円

・ シーツ、枕カバー洗濯代 (税込)

1 人 194 円

・ 食事代 (税込)

朝食 550 円 昼食 550 円

夕食 550 円~790 円

《プラネタリウム公開》

◎ 投影開始時刻

毎週土・日・祝日 (元旦除く) 午後 1:30

(7・8 月は毎週日曜日・祝日)

25 名以上の団体は、予約により受付

※ 投影時間は、約 1 時間

・ 入場料 (税込)

	個人	団体
市内の方	160 円	120 円
市外の方	320 円	250 円

◎ 休所日

月曜日 (祝日の場合はその後の平日)

年末・年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)

★ 利用状況 (平成 28 年度利用者)

開所日数 308 日 (単位: 団体、人)

区分		団体数	人数		
宿泊利用	市内	幼小中高・特別支援学校	74	4,784	
		青少年団体	40	1,543	
		その他	14	361	
	市外	学校・青少年団体他	35	1,832	
	小計 A		163	8,520	
プラネタリウム見学	有料	公開日	市内	1	938
			市外	0	1,496
	団体	市内	0	0	
		市外	1	88	
	無料	小中高・特別支援学校他		0	0
		その他 (減免団体)		11	1,101
		宿泊団体 D		77	4,638
小計 B		90	8,261		
日帰り利用	プラネタリウム見学なし C		44	3,038	
	プラネタリウム見学あり		13	776	
	小計		57	3,814	
合計 (A+B+C-D)		220	15,181		

平成 28 年 12 月初~平成 29 年 3 月末 改修工事により宿泊受入中止

★ 主催・共催事業 (平成 28 年度実績)

月	事業名
5	バラ祭り、チャレンジャースクール①
6	プラネタリウムコンサート①
7	ザ・チャレンジ自由研究、チャレンジャースクール②
8	
9	親子お月見の会
10	親子宿泊体験
11	大町レクリエーションゾーンフェスティバル、チャレンジャースクール③
12	プラネタリウムコンサート②
1	チャレンジャースクール④、冬の天体観望会
2	親子で火を囲もう
3	竹細工工房、チャレンジャースクール⑤